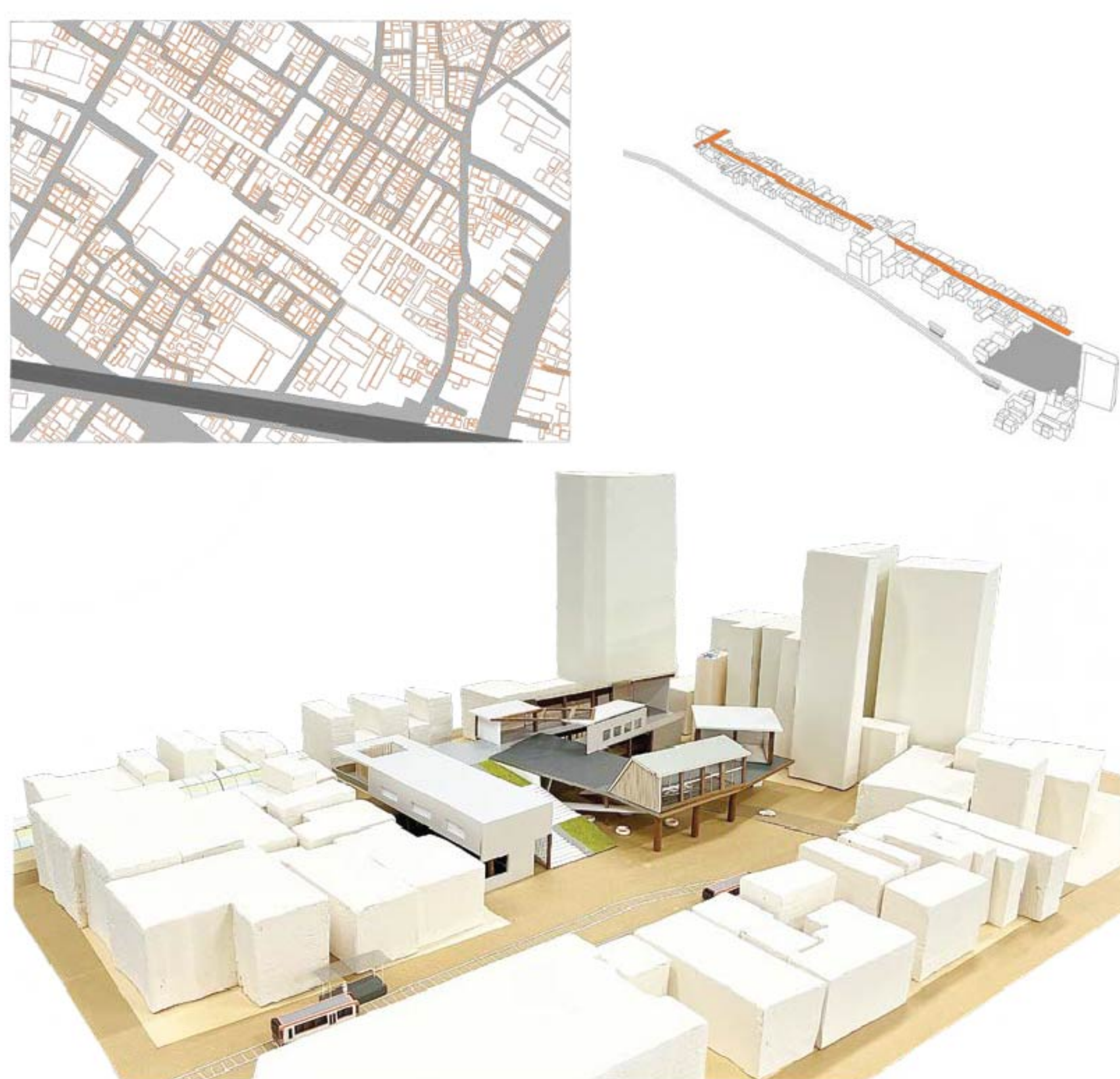
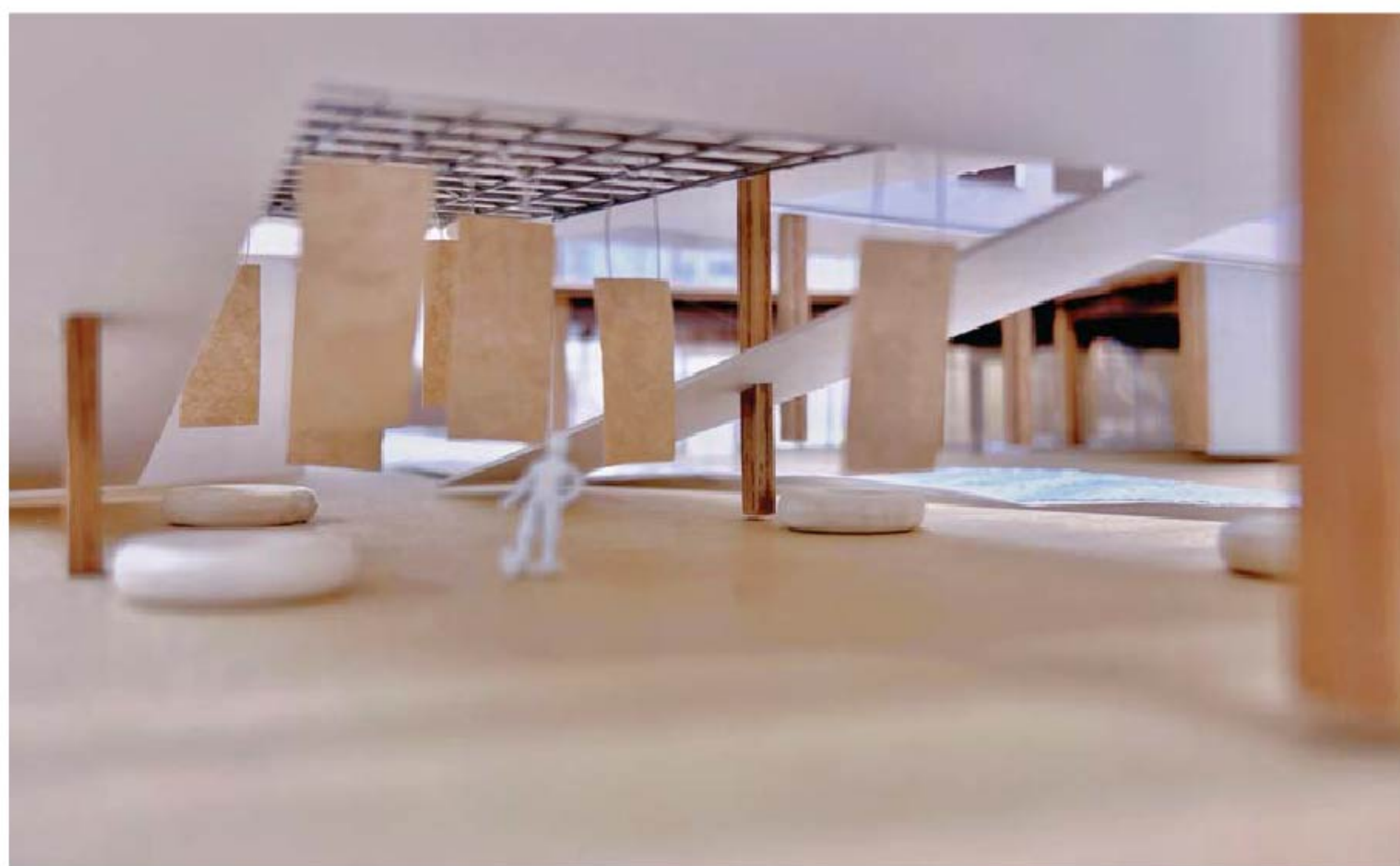


姚 思勤
YAO SIQIN



「Slow Down Time」 - 三ノ輪橋駅前再開発

段ボール、スチレンボード、発泡スチロール、
木材、接着剤



「SLOW DOWN TIME」—三ノ輪橋駅前再開発

日本で初めて訪ねた「喫茶店」は三ノ輪にあるお年寄りの夫婦が経営している店だ。その時、メニューに迷う私は、「モーニングはどう、コーヒーと食事両方付くから」とおじいさんに言われた。もう午後二時だけど、まだモーニングが頼めるのかと思い、「どんなものを作ってくれるかな」と期待していた。店に流れるジャズや、長年経ったインテリアが、時間の流れを緩やかにさせていると感じたことが鮮明に印象に残っている。

その喫茶店の近くにはジョイフル三ノ輪という商店街がある。昔からの商店街で、今も昔のままになっている。古い看板、店の外まではみ出した商品、すべてが昭和レトロ感に溢れている。ジョイフル三ノ輪にいと、時間が止まっているように感じた。ここで店を営んでいる人も客も、お年寄りが多い。住宅街に隣接するので、利用者はほとんどその辺の住民だ。

ジョイフル三ノ輪の並びに、荒川電車が走っている。隣にある三ノ輪橋駅に、電車のファンがよく写真を撮りに来る。それ以外の観光客はあまりいない。

喫茶店は、コーヒーや食事を提供するだけの場所ではない。三ノ輪の喫茶店は、ジョイフル三ノ輪と同じで昔から何も変わってない。そこにいと、都会にいとすることを忘れそうだ。現実から逃げ出したいとき、そのような空間に行ければ良いと思う。

三ノ輪にとって、変わるべきこと、そのまま続けてほしいことはなんでしょう。今のものを生かして、どう変わって行くべきかを考え、時間をゆっくり過ごせる場所を提案しました。